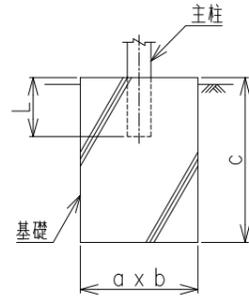


① 柱の位置を決め、基礎を設置します。

- 柱間隔は、柱芯々2.0mピッチで割付てください。
- 端部にてスパン調整をしてください。

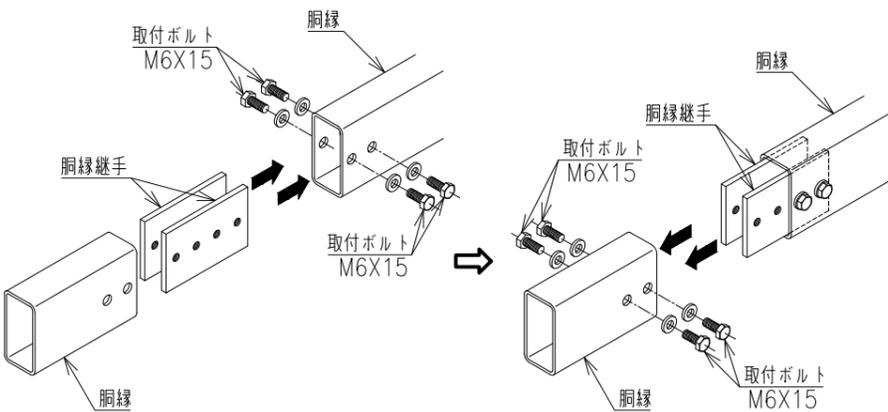


② 柱を建てます。

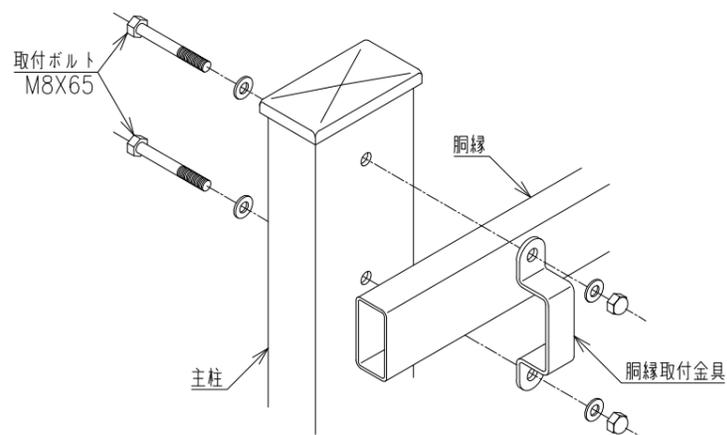
基礎寸法表 単位: (mm)

| 高さ呼称 | 参考基礎寸法 a x b x c | 柱埋込寸法 L |
|-------|---------------------|------------|
| H-180 | 400 x 400 x 700 | 250 |
| H-200 | 500 x 500 x 700 | 250 |

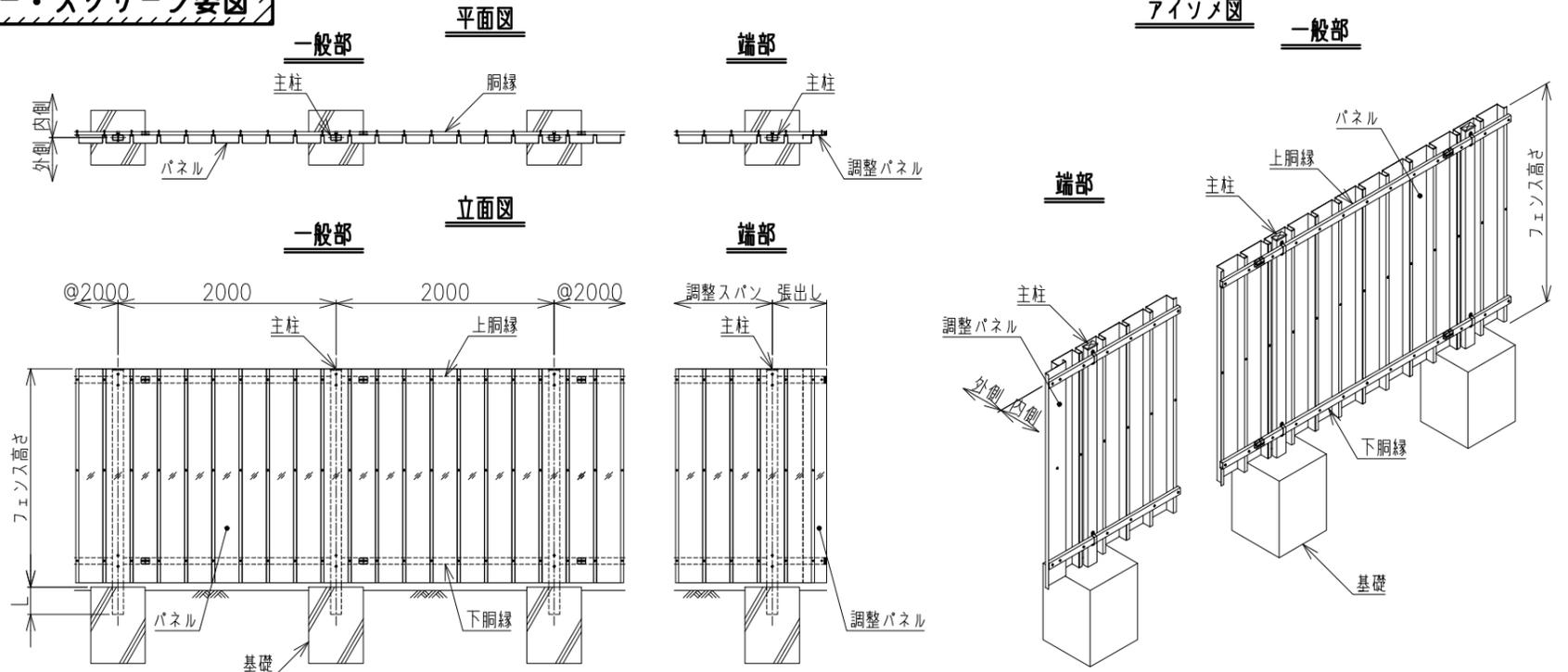
③ 胴縁（上下）をつなぎます。



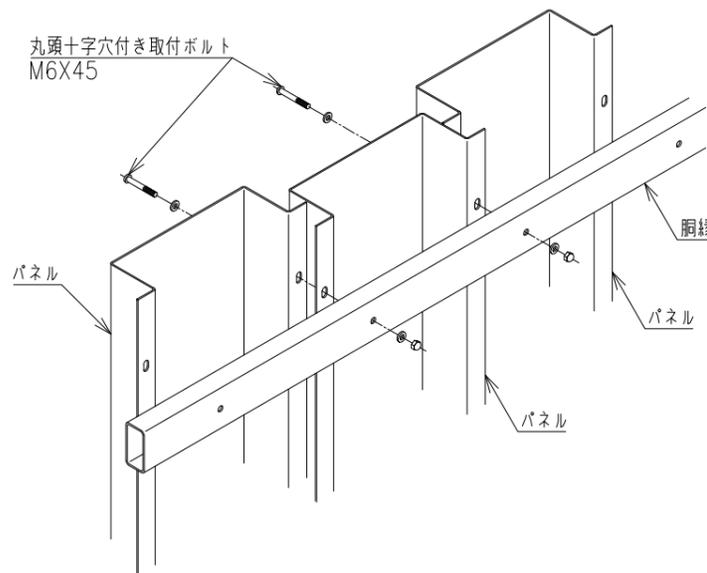
④ 柱に胴縁（上下）を固定します。



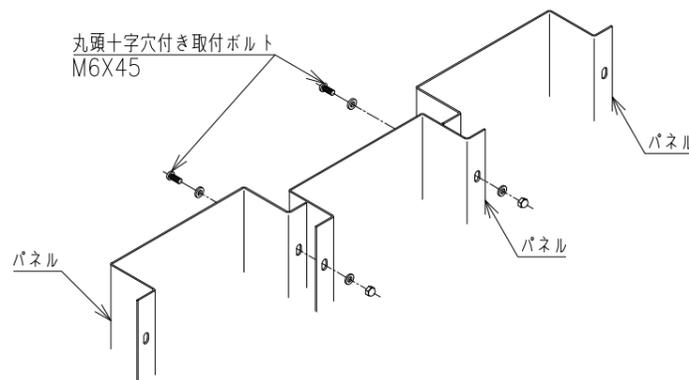
シー・スクリーン姿図



⑤ 胴縁にパネルを固定します。

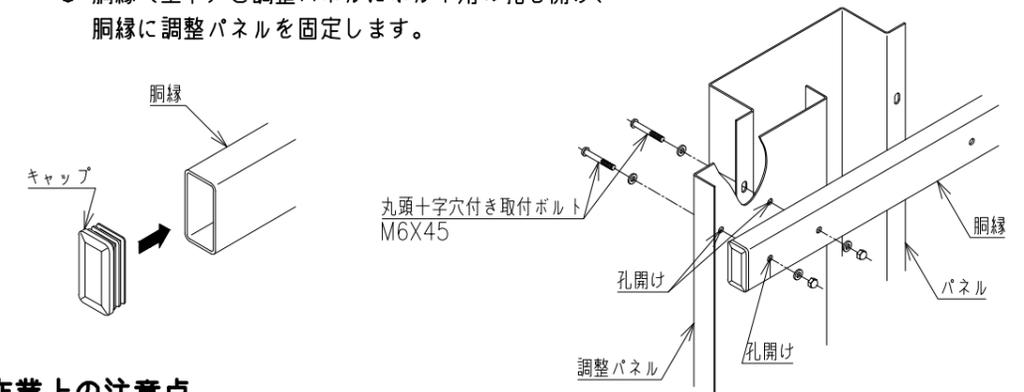


⑥ パネルを連結します。



⑦ 端部処理をします。

- 胴縁（上下）の端部を張出し長さに合わせて切断し、キャップをします。
- 胴縁（上下）と調整パネルにボルト用の孔を開け、胴縁に調整パネルを固定します。



作業上の注意点

- 施工時、搬入時に素手で部材の端面を持つと肌を傷つける恐れがありますので軍手等を着用して行ってください。
- パネルを直射日光下で重ねたままでの置きなどは、変形することがありますのでご注意ください。製品の上に物を置かないでください。変形やキズの原因になります。
- 胴縁などの切断部及び孔開け部は補修塗料（タッチアップ）で補修し、塗料が十分に乾いてからパネルの取付を行ってください。
- パネルに塗料や溶剤・シンナーが付着しますと、クラックが生じたり、跡形が残ったりしますので絶対に使用しないでください。
- 施工時、パネルにボルト・ナット締めをする際には局部的な応力集中を避けるため、必ず座金やワッシャーをご使用ください。また、ボルト・ナットを必要以上に締め過ぎるとクラックが発生する場合がございますので、締め過ぎにご注意ください。
- パネルのマスキングフィルムを貼ったまま長時間屋外に放置しますと、マスキングフィルムが剥がれなくなる可能性があります。施工後はすぐにマスキングフィルムを剥がしてください。
- パネルの表面が汚れた場合は、水洗いまたは水で200倍程度に薄めた中性洗剤を浸した柔らかい布で軽く拭き取ってください（原液のままではクラックが発生する恐れがあります）。クレンザーやアルカリ性洗剤、タワシや硬い布は絶対に使用しないでください。

⚠ 注意 胴縁及びパネルを切断したり、孔を開ける場合は、取り扱いに注意してください。手にけがをすることがあります。